

# 第1回常任理事会報告

日 時 令和元年12月18日（水）午後3時～同4時25分  
場 所 日本歯科医師会10階会議室  
出席者 <会 長> 住友雅人  
<副 会 長> 松村英雄、川口陽子  
<総務理事> 小林隆太郎  
<常任理事> 尾松素樹、神田晋爾、石井信之、弘中祥司、  
中村雅典、古郷幹彦、山下喜久、佐藤裕二、  
河野文昭、宮崎 隆  
欠席者 <常任理事> 木本茂成、村上伸也

[議長 小林総務理事]

## 1. 開 会

松村副会長より、開会の辞。

## 2. 挨拶

住友会長より、挨拶が述べられた。

## 3. 報 告

### 1) 会務報告

#### (1) 一般会務報告

小林総務理事より、次の資料に基づき報告。

□一般会務報告（令和元年7月1日～12月11日）

#### (2) 専門・認定分科会への情報提供

小林総務理事より、令和元年7月1日～12月3日までの情報提供項目について資料に基づき報告。

住友会長より、令和元年7月16日付の「日本歯科医学会分科会学術大会・総会への日本歯科医学会役員派遣」が認定分科会のみへ発出と記載されてい

ることについて事務局に確認があった。（令和元年7月10日の第1回理事会において、専門分科会代表である理事者へは既に報告したため、認定分科会へは別途文書にて通知するよう住友会長より指示があったものであることを事務局より、本会議中に住友会長、小林総務理事へ報告した。）

### (3) 役員派遣

令和元年7月1日以降、新規2件について確認がなされた。

### 2) 会計現況報告

神田常任理事より、次の資料に基づき報告。

□学会会計収支計算書

(平成31年4月1日～令和元年10月31日)

□第24回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

(平成31年4月1日～令和元年10月31日)

### 3) 第24回日本歯科医学会学術大会報告について

松村副会長より、標記について、次の資料に基づき報告。

□第24回日本歯科医学会学術大会関係報告

(令和元年7月1日～令和元年12月11日)

### 4) 理事・評議員・予備評議員等の交替について

小林総務理事より、日本歯科麻酔学会の役員改選に伴って同学会選出の理事、評議員、予備評議員について資料に基づき報告。宮脇卓也理事に代わって飯島毅彦理事が選出、また、丹羽均評議員に代わって鮎瀬卓郎評議員が選出された。

### 5) 日本歯科医学会役員の実務分担の変更について

小林総務理事より、研究倫理審査委員会担当理事を宮脇理事から飯島理事に交替の旨を報告。

### 6) 日本歯科医学会専門分科会加入申請学会(令和元年8月1日公示)について

川口副会長より、資料に基づき以下のとおり報告がなされた。

本年8月1日付にて公示し、9月30日締切にて加入申請受付を行った。日本歯科審美学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔顔面痛学会、日本口腔診断学会の4団体より加入申請があった。

住友会長の諮問を受け、専門・認定分科会資格審査委員会（委員長：沼部幸博）にて審議予定である。

7) 日本歯科医学会認定分科会登録申請学会(令和元年8月1日公示)について  
川口副会長より、資料に基づき以下のとおり報告がなされた。

本年8月1日付にて公示し、8月31日締切にて登録申請受付を行った。日本顕微鏡歯科学会、日本睡眠歯科学会、日本デジタル歯科学会、日本先進インプラント医療学会、日本口腔ケア学会、日本口腔内科学会の6団体より登録申請があった。

住友会長の諮問を受け、現在、専門・認定分科会資格審査委員会（委員長：沼部幸博）にて審議中である。令和2年1月22日開催の常任理事会・理事会に答申が提出される予定である。

佐藤常任理事より、今回、認定分科会の登録申請を行った団体は法人格を持った団体であるが、今後は基本的には法人格を持った団体を受けるといふことか、との質問がなされた。

松村副会長より、現在の募集要項には「法人でなくてはならない」との記載はなく、今後どのようにすべきかを本学会として公式に見解を示していない。現段階では、法人格がなくても応募ができるという状態であることをご理解いただきたい。

8) 研究倫理審査申請書 審査結果について

川口副会長より、本年10月9日開催の研究倫理審査委員会（委員長：清水典佳）・メール審査にて、以下の研究課題名の倫理審査を承認した旨報告がなされた。

研究課題名：「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけの歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」に関する調査研究  
実施責任者：恒石美登里（日本歯科総合研究機構 主任研究員）

9) 利益相反申告書 審査結果について

松村副会長より、本年10月2日開催の利益相反委員会（委員長：櫻井 薫）

にて、以下の研究課題名の利益相反関係は、「問題なし」と判定した旨報告がなされた。

研究課題名：「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけの歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」に関する調査研究

実施責任者：恒石美登里（日本歯科総合研究機構 主任研究員）

#### 10) その他

○佐藤常任理事より、第24回日本歯科医学会学術大会の公募セッションの演題募集の通知を受理したが、学術プログラムの規模の確認があった。

松村副会長より、第21回大会が、第24回と会場が同じパシフィコ横浜であるので、その時の規模を参照いただきたいとの回答があった。

○小林総務理事より、第1回理事会にて佐藤常任理事より要望いただいた、日本歯科医学会組織図、日本歯科医学会委員一覧、第24回日本歯科医学会学術大会準備委員会委員一覧を本学会HPに掲載した旨の報告があった。なお、顕彰審議会と選挙管理会はHPに掲載していない旨の言及がなされた。

四役にて迅速に広報活動を行える体制が整っている。

また、「四百字の唄」について、副会長・総務理事・常任理事全員に執筆いただいた旨の報告がなされた。

#### 4. 議 題

##### 1) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

宮崎常任理事より、以下のとおり諮られた。

本年12月17日に開催された第1回顕彰審議会（委員長：須田英明）の審議結果が答申書として提出され、28ページ目の資料（取扱注意）に記載の授賞候補者7名が選考されたので議場に諮る。

本日の常任理事会で承認後、令和2年1月22日開催の理事会にて最終決定し、令和2年2月17日開催の第102回評議員会で授賞式が行われる予定である。理事会にて最終決定されるまでは、受賞候補者、顕彰審議会委員名等については非公開にする。

協議の結果、全会これを承認した。

##### 2) 令和2年度日本歯科医学会事業計画について

小林総務理事より、資料に基づき以下のとおり諮られた。

本日の常任理事会、令和2年1月22日開催の理事会にて審議した上で、令和2年2月17日開催の第102回評議員会に上程予定である。

協議の結果、全会これを承認した。

3) 令和2年度学会会計収支予算について

神田常任理事より、次の資料に基づき諮られた。

□令和2年度 学会会計収支予算案

本資料は、本日の常任理事会、令和2年1月22日開催の理事会にて審議した上で、令和2年2月17日(月)の第102回評議員会に上程予定である。

協議の結果、全会これを承認した。

4) 令和2年度第24回日本歯科医学会学術大会会計収支予算について

神田常任理事より、次の資料に基づき諮られた。

□令和2年度 学会学術大会会計予算案

本資料は、本日の常任理事会、令和2年1月22日開催の理事会にて審議した上で、令和2年2月17日の第102回評議員会に上程予定である。

協議の結果、全会これを承認した。

5) その他

○佐藤常任理事より、今後、広報活動の強化、充実と挙げられているが、日本歯科医学会から分科会への情報提供が、有効に各分科会会員へ周知されるよう、例えば、会長挨拶等が更新される度に、より注目されるような形で分科会事務局へ連絡されるべきである。また、メールマガジン等の手段もご検討いただきたいとの提案があった。

○松村副会長より、日本歯科医学会からの電子版の情報を分科会事務局が全会員へ配信できるようなシステムを構築していただきたいとの要望が述べられた。

○小林総務理事より、本学会から提供する情報の重要度の説明方法については、四役協議会にて協議させていただくとの発言があった。

○住友会長より、各分科会 HP に日本歯科医学会 HP のリンクを貼っていただくよう依頼したが、あまり実施されていないようである。改めてその依頼をすることとしたい、本学会 HP の「What's new」の欄に各分科会の情報を提供

いただくよう依頼しているが、うまく機能していないようである。次回の評議員会で改めて周知したいとの発言があった。

○住友会長より、以前は、予算案の審議のために評議員会を毎年1月あるいは2月に年1回開催していた。しかし、決算と事業を報告するための評議員会の6月開催を必要とし、現在は、年2回となっている。また、各評議員から事前質問を受付けているが、日本歯科医師会の代議員と異なり、事前質問をあまりいただけていない状況である。また、次回の2月開催の評議員では、各委員会担当役員より、委員会活動の中間活動報告を行うこともありうる。活気のある評議員会が望ましいとの発言がなされた。

○神田常任理事より、学会員の日本歯科医師会入会推進にご協力いただきたいとの要望が述べられた。住友会長より、第24回日本歯科医学会学術大会で「日歯プログラム」の企画をご依頼しているところであるが、ぜひ参加者が日本歯科医師会への入会を希望されるような企画をご提出いただきたいとの発言があった。

## 5. 閉 会

川口副会長より、閉会の辞。